

在宅医療連携拠点事業の取り組み

在宅医療事例発表会

H26.1.19

高知市総合あんしんセンター

3階大会議室

医療法人聖真会 渭南病院

在宅医療連携室 中野知美

土佐清水市概要



人口: 15,692
高齢化率: 40.8%
(H24. 8. 31 市広報より)

救急搬送時の所要時間(H20年度)

①下川口	:	43分
②清水市街地	:	53.2分
③足摺岬	:	65分

幡多の人口の推移

人口総数	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2010年/2040年
土佐清水市	16,029	14,738	13,460	12,180	10,941	9,770	8,674	54.1%
四万十市	35,933	33,927	31,888	29,781	27,682	25,577	23,434	65.2%
宿毛市	22,610	21,014	19,546	18,041	16,549	15,104	13,671	60.5%
高知市	343,393	334,982	324,804	312,525	298,926	284,140	268,602	78.2%

幡多の高齢化率の推移

高齢化率	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
土佐清水市	39.2%	45.0%	48.8%	50.6%	51.2%	51.7%	53.4%
四万十市	29.8%	34.9%	38.3%	40.7%	42.0%	42.9%	45.6%
宿毛市	29.6%	35.0%	39.0%	41.5%	43.3%	44.3%	46.5%
高知市	23.8%	28.1%	30.5%	32.0%	33.6%	35.2%	38.2%

土佐清水の医療関係機関

機関名	施設数	ベット数	訪問の有無
病院 <u>※公的病院はない</u>	3	30(一般)⇒50※ 112(療養)⇒127※ 77(介護)⇒42※ 計:219 ※改修 H26. 6~ 予定	対応している 夜間対応は不可
診療所	3	19(一般)	対応 24時間体制は 1診療所
歯科	7		施設往診
薬局	4		対応可能

土佐清水市の介護施設

種別	種類	施設数	定員
訪問系	訪問入浴	1	
	訪問介護	7	
	訪問リハビリテーション	3	
	訪問看護	(1)	
施設系	特別養護老人ホーム（広域型）	1	120床
	介護療養型医療施設	3（再掲）	77床
	短期入所療養介護	4	空床利用型
	介護老人保健施設	1	70床
	グループホーム	6	54床
	地域密着型ケアハウス	2	58床
	通所型+施設系	小規模多機能型居宅介護	1
通所系	通所リハビリテーション	3	
	通所介護	1	15人
	認知症対応型通所介護	1	
その他	包括支援センター	1	
	居宅支援	4	

土佐清水市の医療の在り方 (あるべき姿)

急性期医療の継続

入口～出口
(キュアからケア)
まで

多職種協働
<地域全体で>

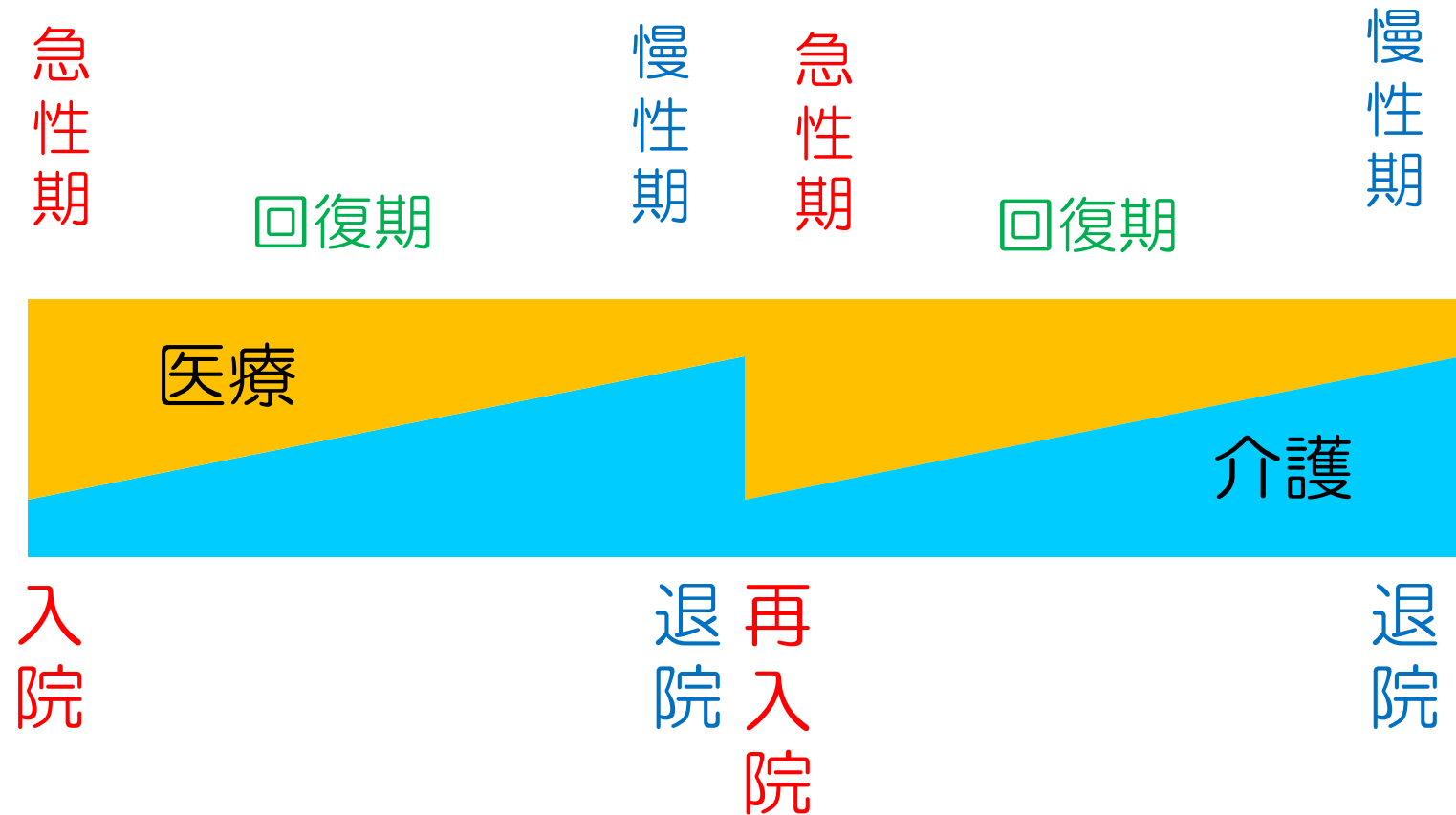
保健・福祉・介護の充実

- ・ 疾病予防、介護予防
- ・ 施設、住まい、配食などの整備
- ・ 介護教育など

＜高齢者の医療＞

治す治療⇒生活を支える療養

高齢者：医療と介護の必要度



医療法人 聖真会

渭南病院

病床数：105床 【一般30(7:1) 医療40 介護35】

入院 102人/日、外来 196人/日

平均在院日数 13.8日、病床稼働率 96.7%

救急受け入れ 446件 H24.1-9月

(全搬送の65.3% 管内搬送の87%)

医師数 : 常勤5名 非常勤42名(延べ人数)

薬剤師 : 1

看護師数 : 52 (正 36 准 15)

療法士 : 14 (理16 作6 言語1)

技師数 : 9 (放3 臨工3 検3)

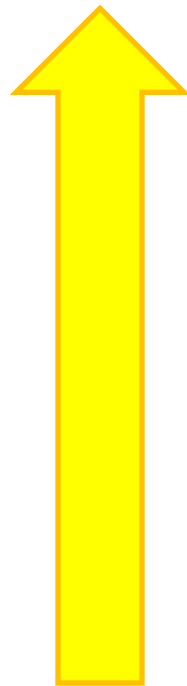
栄養士 : 4 (管理栄養士3, 栄養士1)

介護福祉士 : 27

渭南病院の取り組み

<これまでの取り組み> 急性期医療の継続

2013年 5月
2012年 5月
2010年12月
2009年10月
2009年 7月
2008年 3月
2008年11月
2007年 7月
2007年 4月
2006年
1966年
1923年



DMA T 指定病院
平成24年度在宅医療連携拠点事業採択
7：1 入院基本料取得
二次救急告示病院
DPC 対象病院
当院専用救急車導入
1.5テスラMRI 導入
病棟電子カルテ導入
外来電子カルテ導入
PEGからミキサー食注入開始
渭南病院と名称を変更開設
医院として開業

<在宅医療の取り組み> 医療と介護の連携強化

事業

平成24年度	在宅医療連携拠点事業<厚生労働省>
平成25年度	在宅医療連携体制整備事業<高知県地域医療再生基金>
平成26年度(予定)	在宅医療連携体制整備事業<高知県地域医療再生基金>

抽出された地域の状況、問題点

医療機関	<ul style="list-style-type: none">・ 医師の高齢化,人材確保の難しさ・ 社会的入院が多い。・ 医療ニーズの高い患者様の受け入れ先が限られている。・ 病院間連携がない。病病連携の際の相談室の機能が弱い。・ 在宅医療のニーズはあるが、医師、看護師が少なく進まない。
医療-介護	<ul style="list-style-type: none">・ 担当者会議に、医師の参加が得られない。・ 医療系ケアマネが少ない（10分の1）・ 病院で、在宅を見据えたケア（リハビリ、栄養を含む）が提供できていない。
介護事業所	<ul style="list-style-type: none">・ 人材確保の難しさ・ 介護職の専門性が乏しい。（自立支援のための介護）・ 専門的な研修を受ける機会が少ない。（四万十市、高知市まで出かける必要がある）
介護系施設	<ul style="list-style-type: none">・ 誤嚥性肺炎での繰り返し入院が多い。・ 病院での治療（治療食の提供など）・療養継続が困難・ 利用者の廃用が進行する。
行政（市町村）	<ul style="list-style-type: none">・ 公的医療機関がない。・ 第6期における特定（介護）施設計画は難しいと予想される。

当院での問題点

地域に急性期病床を持つ病院が当院のみであるため、緊急入院のためのベット調整に追われる。

①ベットを空けるための急な退院がある。

⇒退院調整ができないままの退院

⇒ケアマネに退院の連絡が行かない

②病棟看護師は、緊急入院や退院の処理、それに伴うベッド移動に追われ、看護計画、継続した看護ケアがおろそかになる



必要な取り組み

- ・ 緊急入院を予測したベットコントロール
- ・ 入院早期からの在宅を見据えた関わり

土佐清水在宅医療多職種連携協議会

平成24年度6月 第一回合同会議で設立

会長 渭南病院 院長 溝渕敏水

副会長 松谷内科 院長 松谷拓郎

協議会内には、3つの部会（タスクフォース）を設置



24時間在宅医療体制の構築の部会

足摺岬診療所 院長 奥宮一矢



情報共有・連携体制の構築部会

土佐清水包括支援センター長 森川厚子



人材育成・普及啓発部会

土佐清水市社会福祉協議会事務局長 西本久美香

※敬称略

合同会議



各部会目的と目標

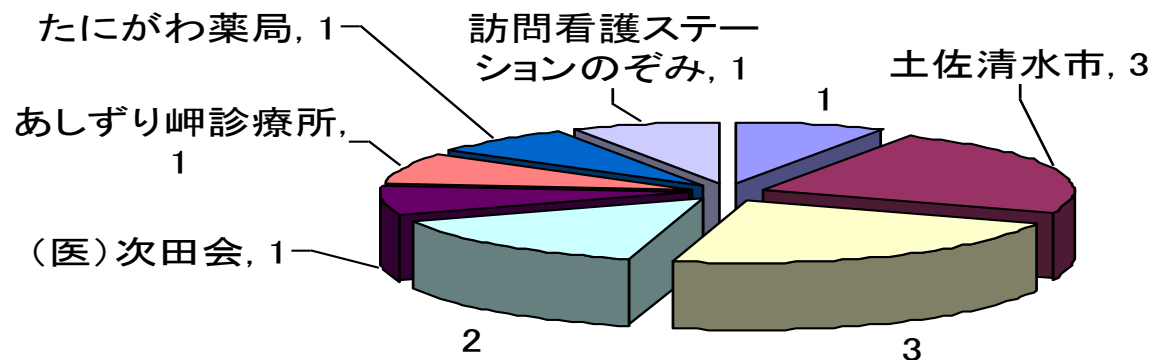
部会	目的・目標
24時間在宅 医療体制の整備	<目的>連携による在宅24時間体制
	・市内での訪問看護の提供（検討中）
	・往診24時間体制（調整中）
	・休日・夜間の相談窓口の設置（検討中）
	・夜間の介護サービス（調整窓口の設置）
情報共有・ 連携体制の整備	<目的>医療機関における退院支援の強化
	・急性期病棟での退院支援の強化
	・入院時、退院前情報共有カンファレンスの実施
	・相談窓口の整備（施設、ケアマネジャー）
人材育成・ 普及啓発	<目的>多職種連携による在宅支援体制の強化 （介護の専門性,多職種ネットワークの構築）
	・多職種の代表によるワーキング委員会の設置 （来年度計画）
	・多職種合同研修会・事例検討会の実施（継続）

24時間在宅医療体制部会

部会長	奥宮一矢（あしずり岬診療所）		
副部会長	二宮真弓（土佐清水市福祉事務所）		
開催日	H25. 11. 20(水)		
会場	公民館		
ねらい	土佐清水市の現状から在宅医療連携拠点の役割を考える		
内容	在宅医療連携拠点の役割について		
	先進事例の紹介、土佐清水市の現状と限界点	から	拠点の役割を考える

24時間在宅医療体制構築部会

{(医)⇒医療法人 (社)⇒社会福祉法人} 単位:人



- 高知県幡多福祉保健所
- 土佐清水市
- (医)聖真会
- (医)清悠会
- (医)次田会
- あしずり岬診療所
- たにがわ薬局
- 訪問看護ステーションのぞみ

情報共有・連携部会

部会長	森川厚子（土佐清水市地域包括支援センター長）
副部会長	山岡鈴代（渭南病院 外来師長）
開催日	H25. 11. 12(火)18:00～
会場	市役所第1会議室
ねらい	医療機関における退院支援の強化
内容	退院支援の事例報告
	グループワーク
	・ 退院支援における課題や事例に関する多職種意見交換

<発表>

1)足摺病院 相談員 柿内 麻里

テーマ)脳卒中後の嚥下障害による誤嚥性肺炎を繰り返す症例

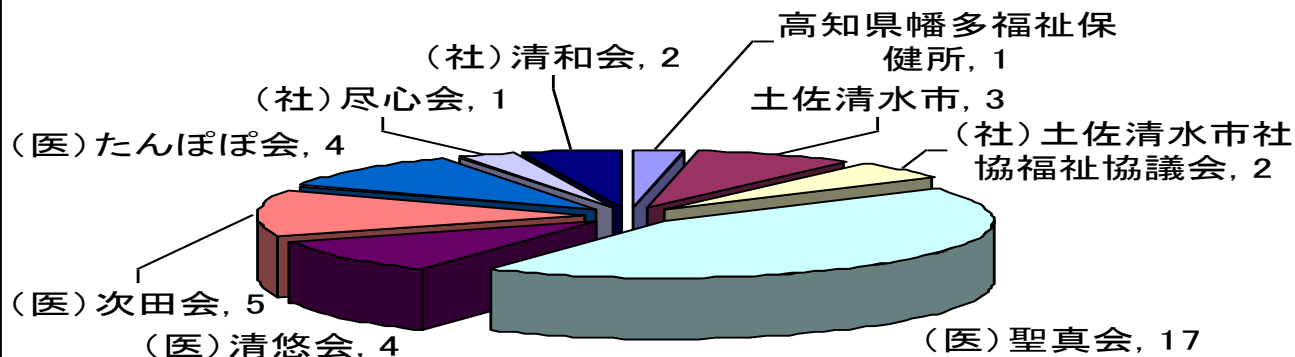
2)渭南病院 医療棟師長 福富 由香

テーマ)介護不足が予想されるが、介護サービスの受け入れに否定的な症例

重度介護を要する老々介護での在宅生活
(介護度4 介護者 70～80歳代)

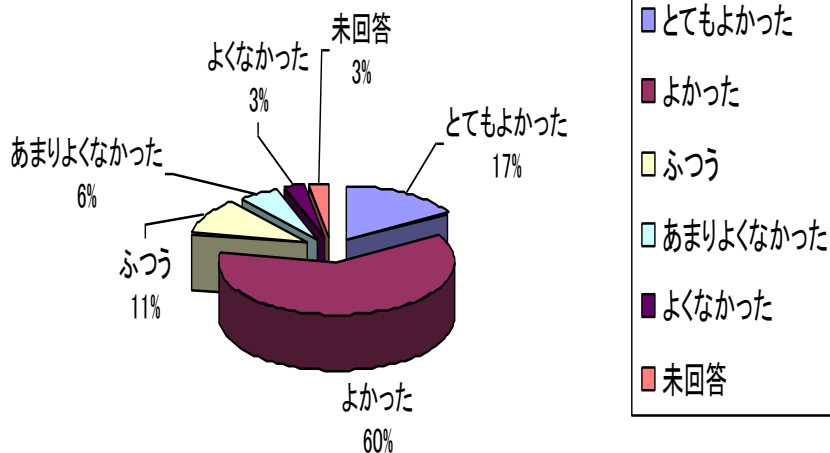
情報共有・連携体制の構築部会

注) 医療法人⇒(医) 社会福祉法人⇒(社) 単位:人

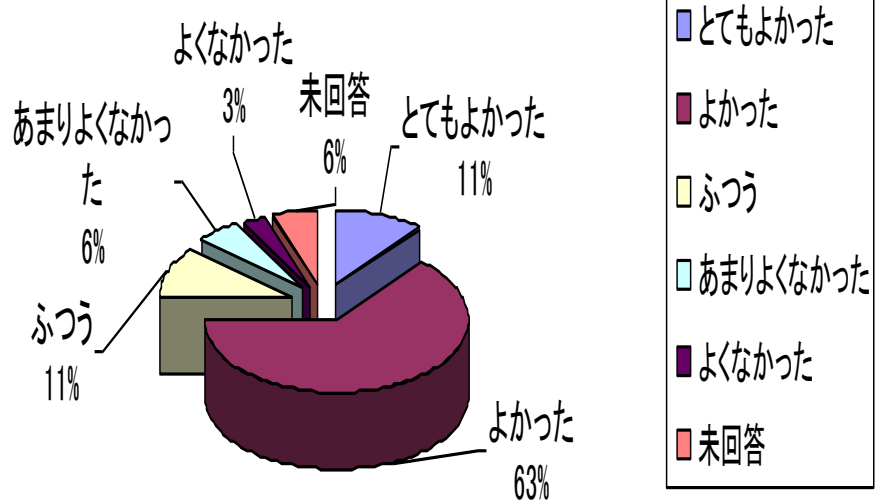


- 高知県幡多福祉保健所
- 土佐清水市
- (社)土佐清水市社協福祉協議会
- (医)聖真会
- (医)清悠会
- (医)次田会
- (医)たんぽぽ会
- (社)尽心会
- (社)清和会

2. 今回の退院支援の事例報告についての評価



3. 今回のグループワークについての評価

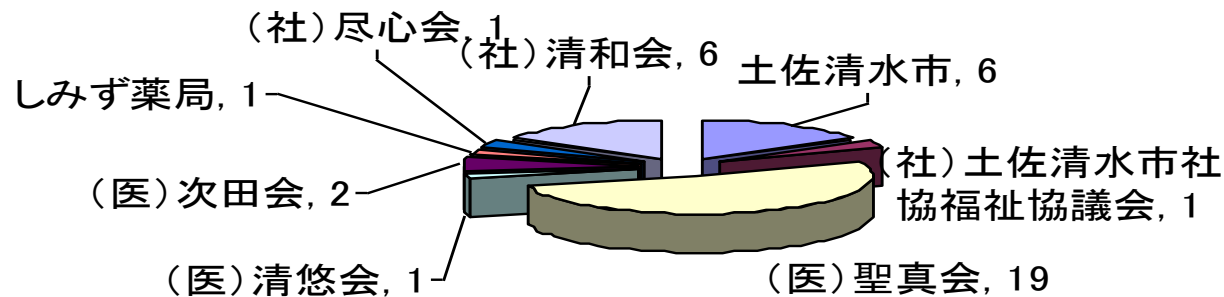


人材育成・普及啓発部会

部会長	西本 久美香 (土佐清水市 社会福祉協議会事務局長)
副部会長	芝 伸悟 (サンケアしみず 副施設長)
開催日	H25. 9. 24(火) 18:00-19:30
会場	市役所第1会議室
ねらい	普及啓発のリーダーとしての意識を高める
内容	パネルディスカッション 「リーダーと人材育成」について

人材育成・普及啓発部会

注) 医療法人⇒(医) 社会福祉法人⇒(社) 単位: 人



- 土佐清水市
- (社) 土佐清水市社協福祉協議会
- (医) 聖真会
- (医) 清悠会
- (医) 次田会
- しみず薬局
- (社) 尽心会
- (社) 清和会

各部会



合同研修会プログラム

＜口腔ケア・栄養研修会＞ 会場：渭南病院 デイケア室 他

日時	講師	内容
25/11/27	渭南病院 佐藤あずさ (歯科衛生士)	口腔ケア
12/10	渭南病院 中澤 麻耶 (言語聴覚士) 渭南病院 井上 美由紀 (管理栄養士)	嚥下の基礎・食形態
26/ 1/21	渭南病院 中澤 麻耶 (言語聴覚士) 小松 出 (作業療法士)	嚥下体操・姿勢・介助方法
2/27	渭南病院 井上 美由紀 (管理栄養士)	高齢者と食事

＜自立支援・尊厳ある介護研修会＞ 会場：松谷病院 リハビリ室 他

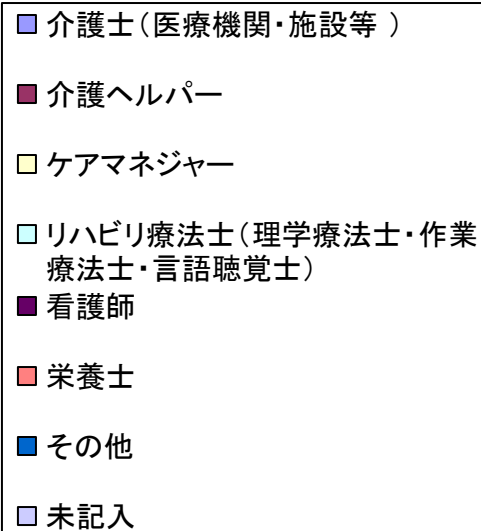
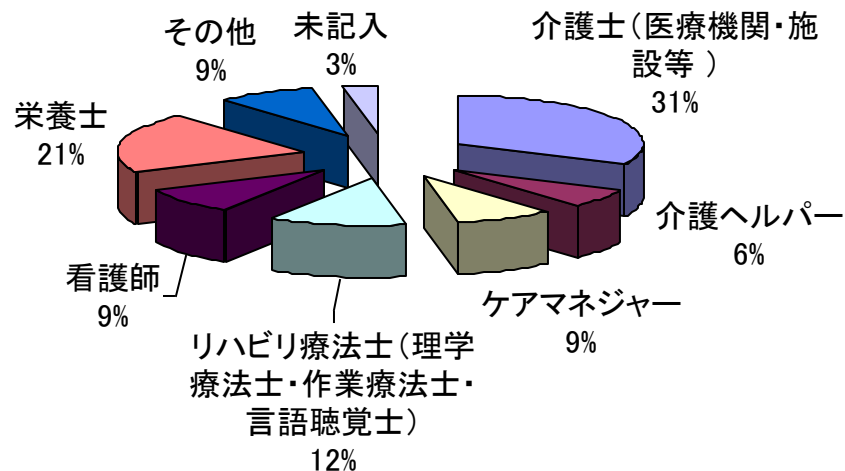
日時	講師	内容
25/10/18	サンケアしみず 松谷将人 (理学療法士)	自立支援の介護技術
11/15	松谷病院 酒井尚子 (看護師) 他	高齢者の尊厳とケア
12/ 4	松谷病院 井上真由美 (総師長)	身体拘束
26/ 1/17	サンケアしみず 松谷将人 (理学療法士)	片麻痺患者の生活動作
2/21	松谷病院 酒井尚子 (看護師) 他	姿勢管理

合同介護研修会

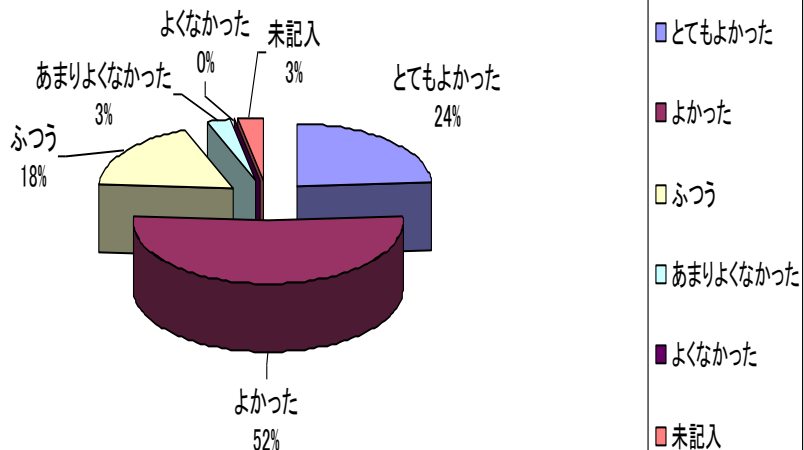


第1回 口腔ケア・栄養研修会

1.参加者の職種内訳



2.今回の内容についての評価

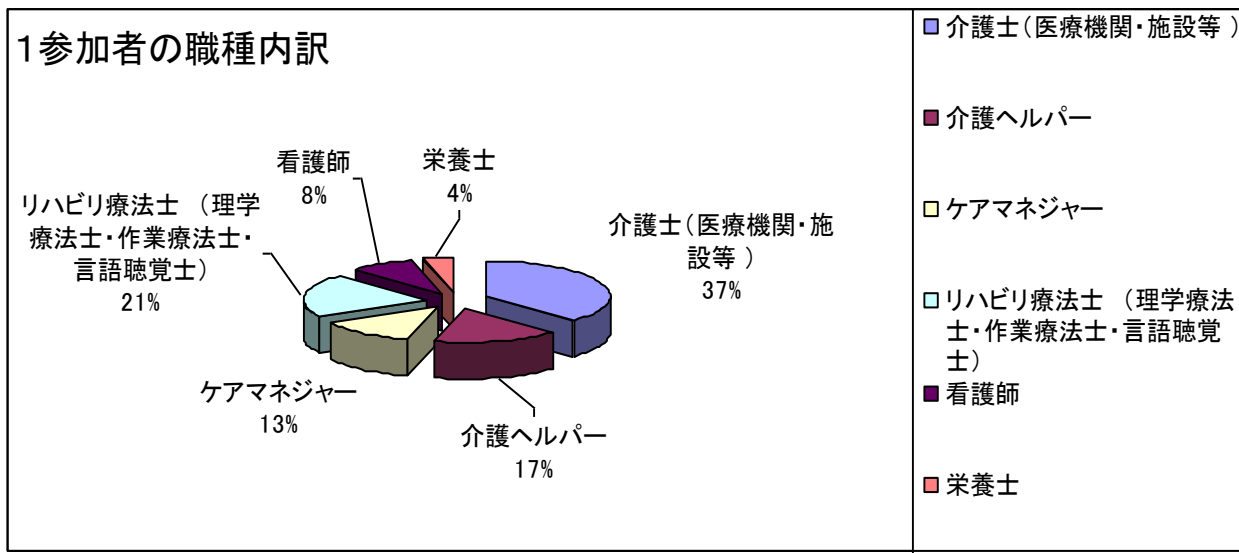


- ・唾液腺マーサー効果がすぐに分かった
- ・それぞれの歯の機能がわかった
- ・歯の模型を用いた口腔清掃の方法などがわかった。

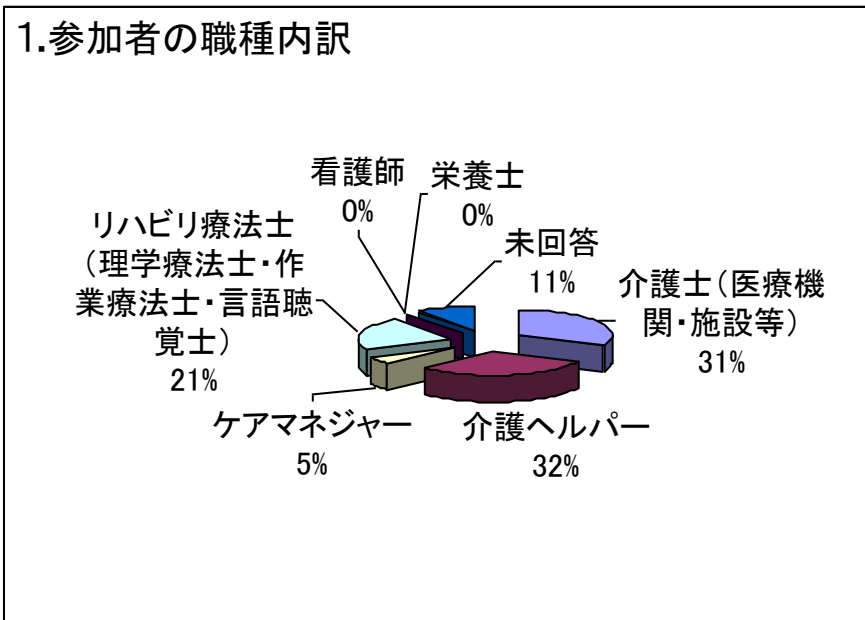
自立支援・尊厳ある介護研修会

1) 参加者

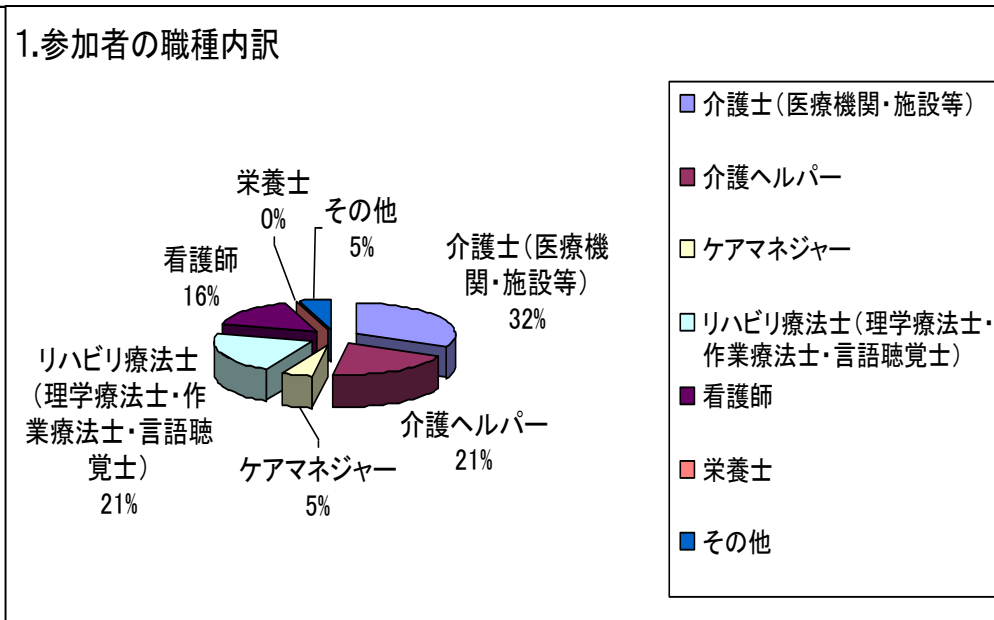
第1回



第2回



第3回

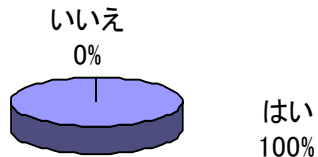


自立支援・尊厳ある介護研修会

3) 活用について

第1回

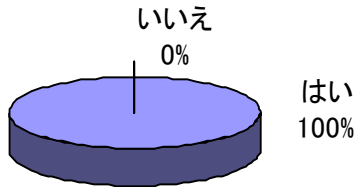
3. 今回の内容を活かし取り入れたいと思われませんか。



- ・利用者の力・動きを活かした移乗方法を活かしたい
- ・心づかいを忘れずに現場で活かしたい
- ・もっと技術を習得し、利用者様に良いケアが出来るようになりたい。

第2回

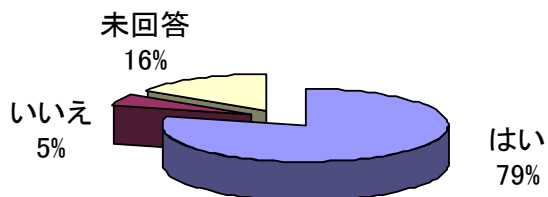
3. 今回の内容を活かし取り入れたいと思われませんか。



- ・動きを制限しないおむつの当て方

第3回

3. 今回の内容(考え方)を現場(職場)で活かし取り入れたいと思いますか。



- ・利用者の行動を、どう捉えるか介護職員の意識改革がとても重要だとわかった。

急性期～在宅医療まで
地域医療機関～地域住民で連携を!!

～在宅医療推進は、地域づくり～

地域全体で、高齢者を支える「地域づくり」
行政、医療、介護、地域が一丸となって取り組みます。

ご清聴有難うございました。